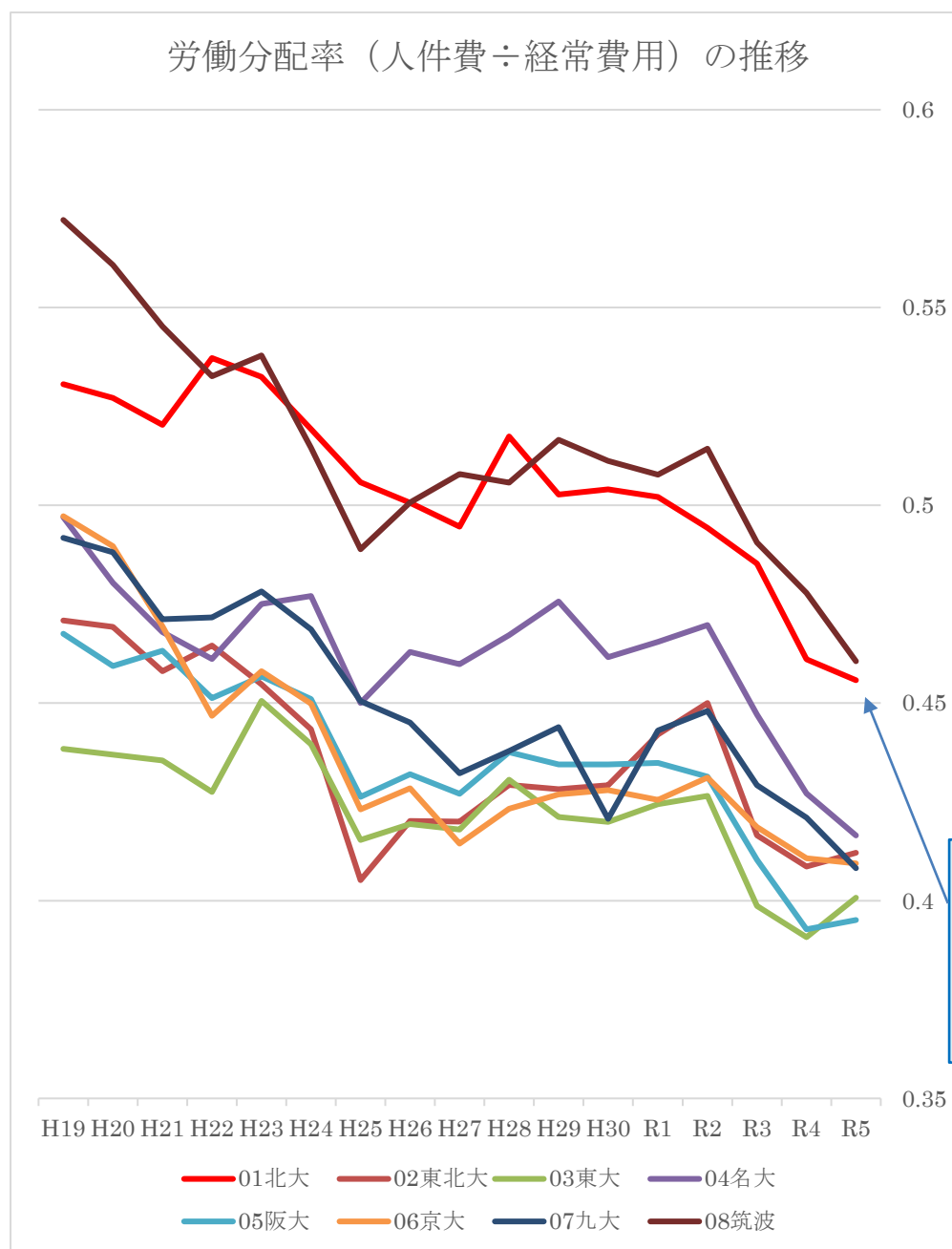
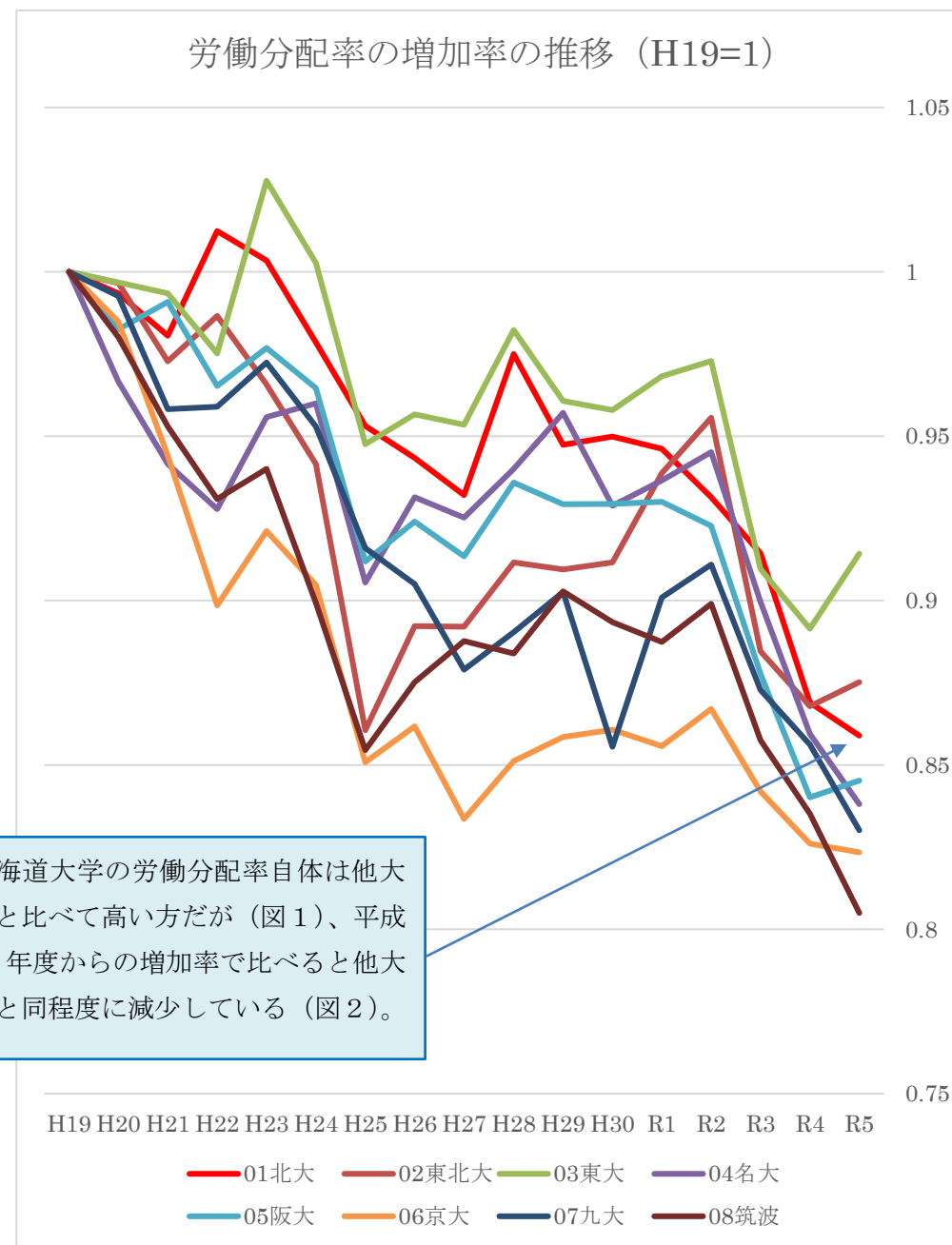


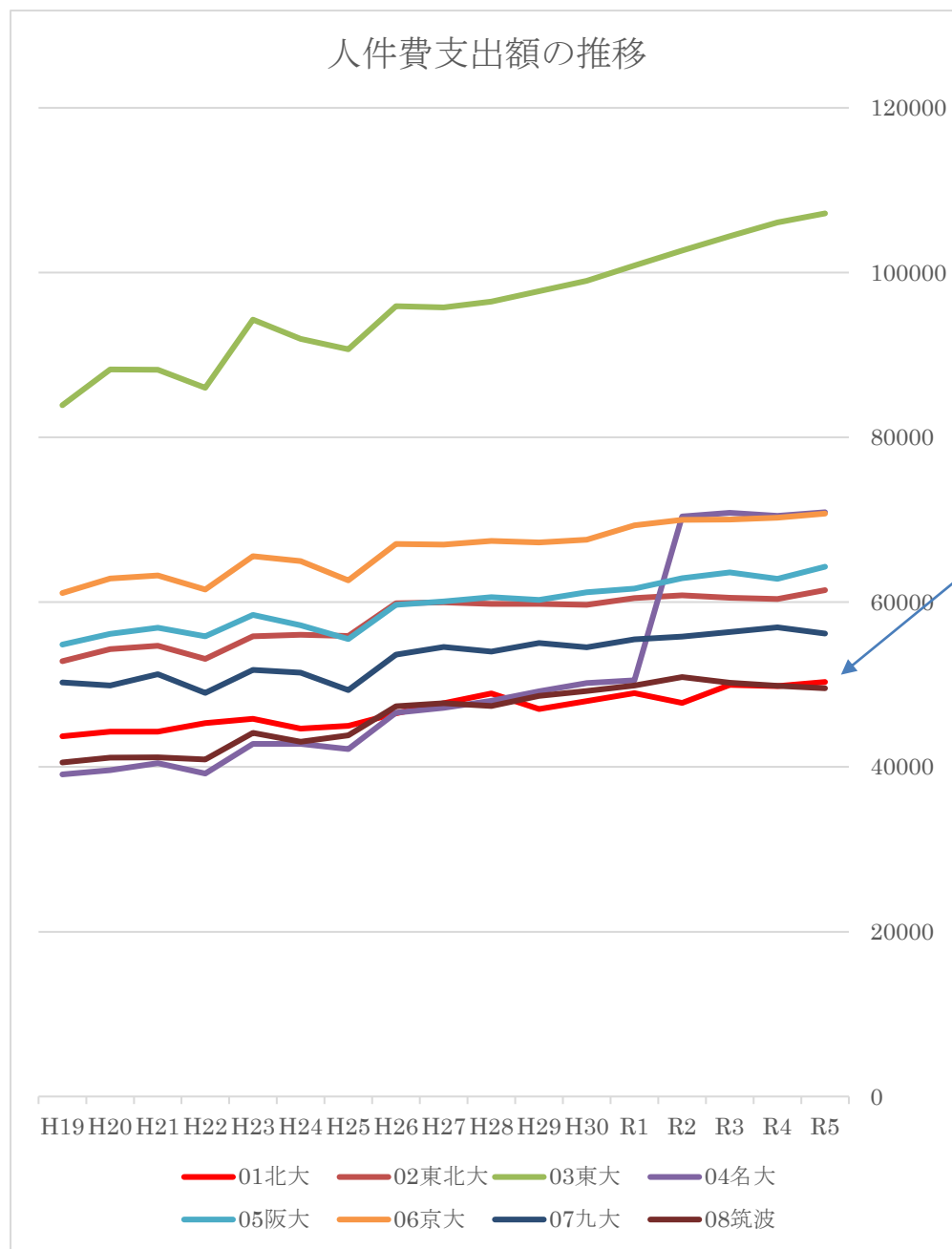


（図 1：労働分配率の推移）

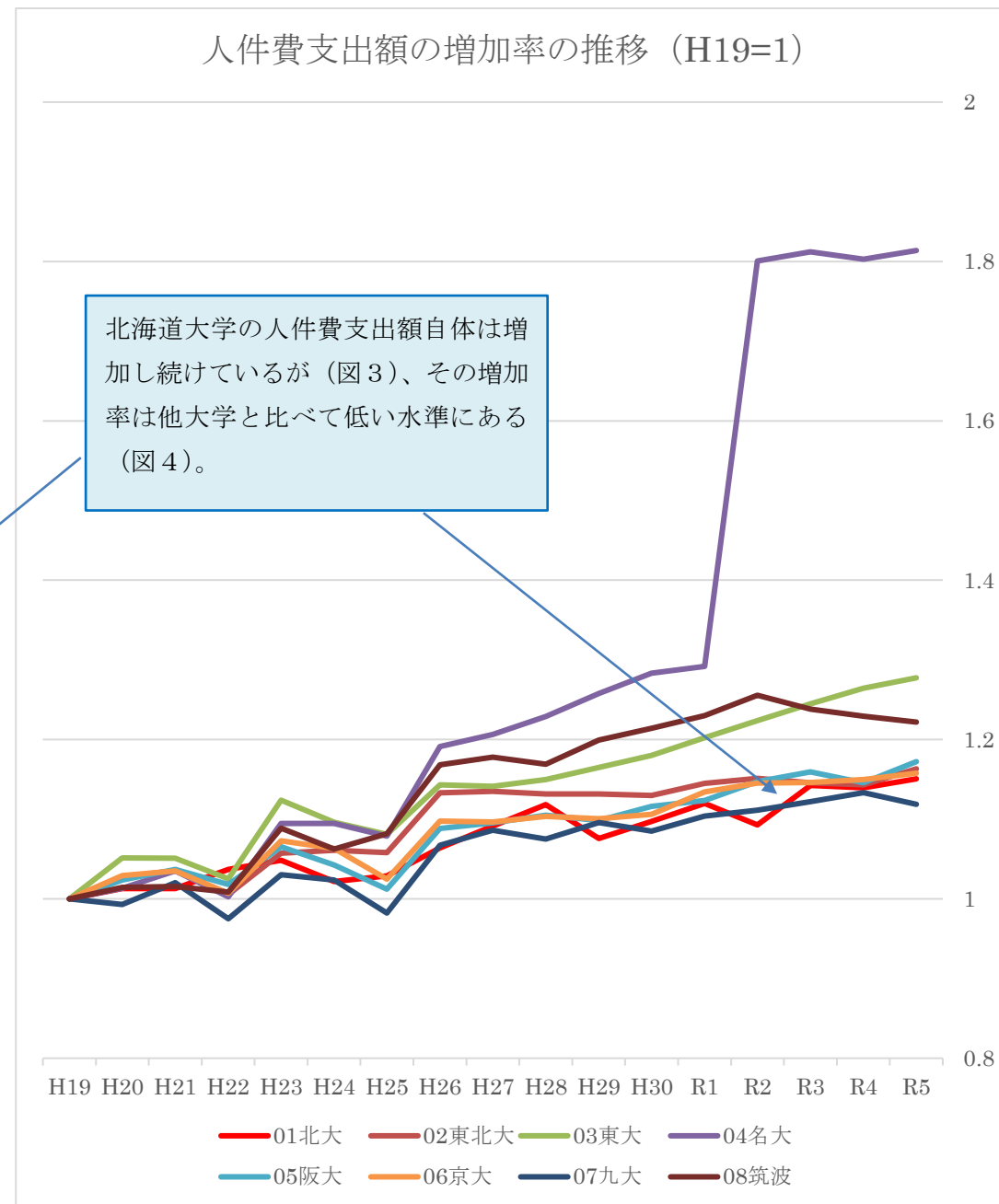


（図 2：平成 19 年を 1 とした場合の労働分配率の増加率の推移）

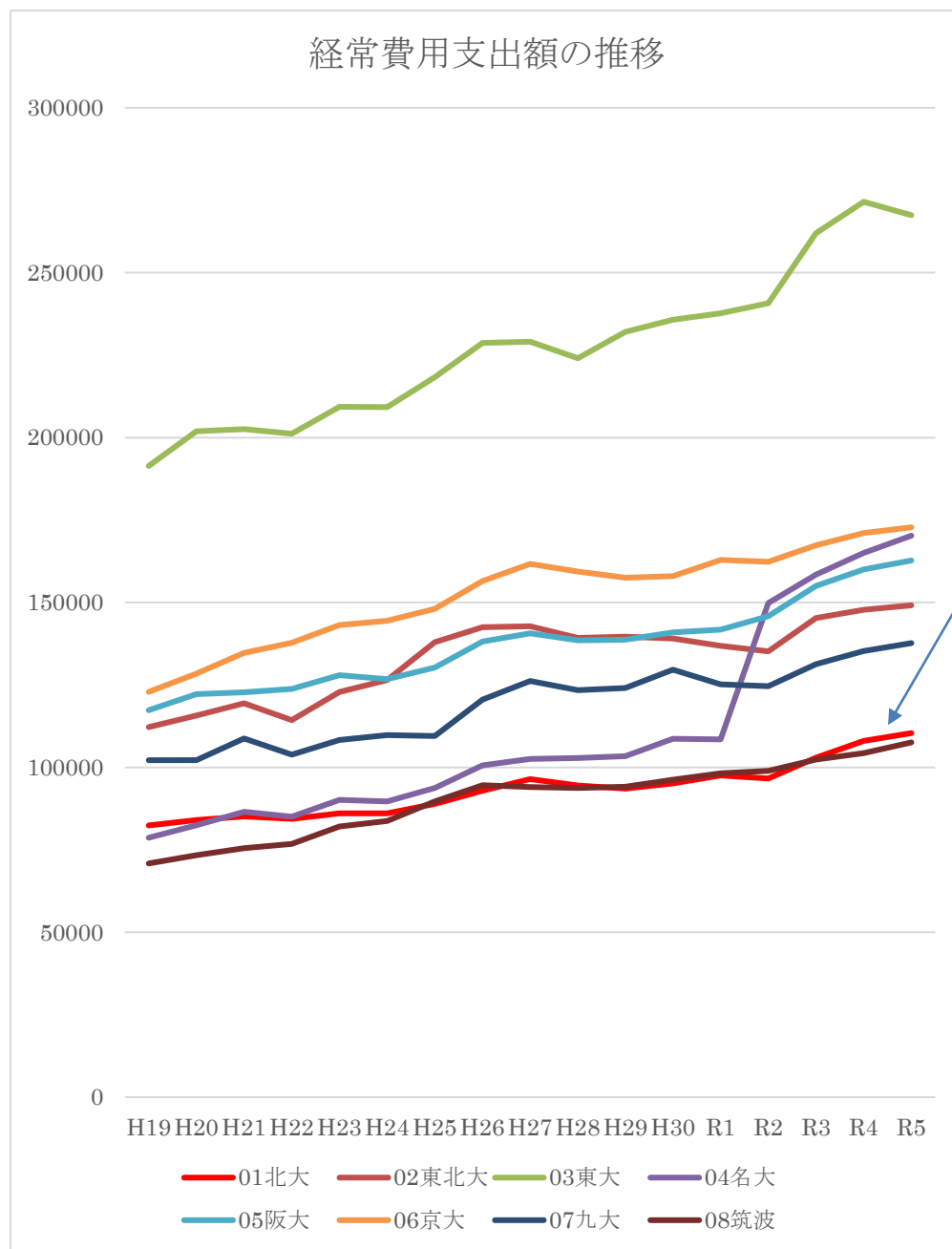
北海道大学の労働分配率自体は他大学と比べて高い方だが（図 1）、平成 19 年度からの増加率で比べると他大学と同程度に減少している（図 2）。



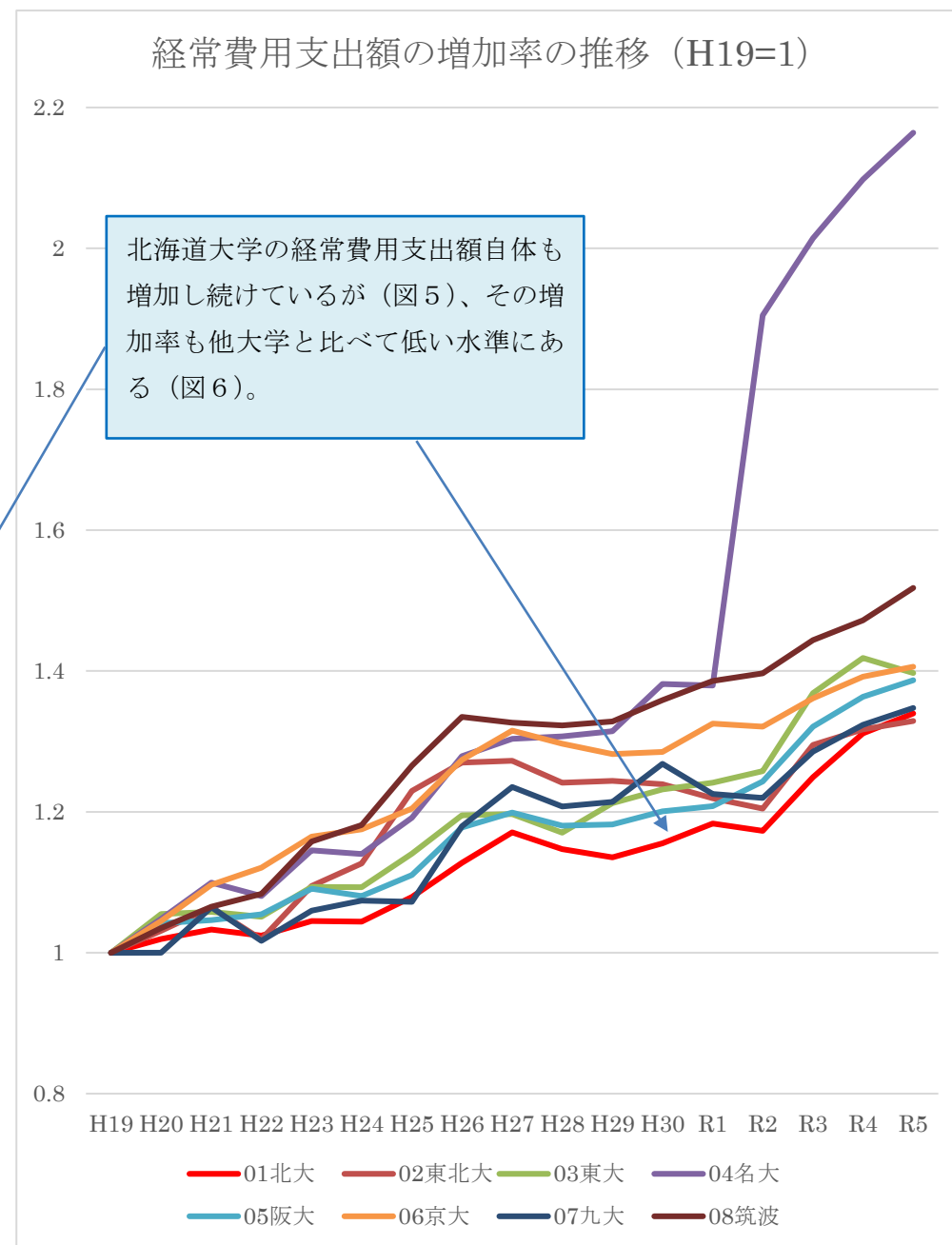
(図3：人件費金額の推移)



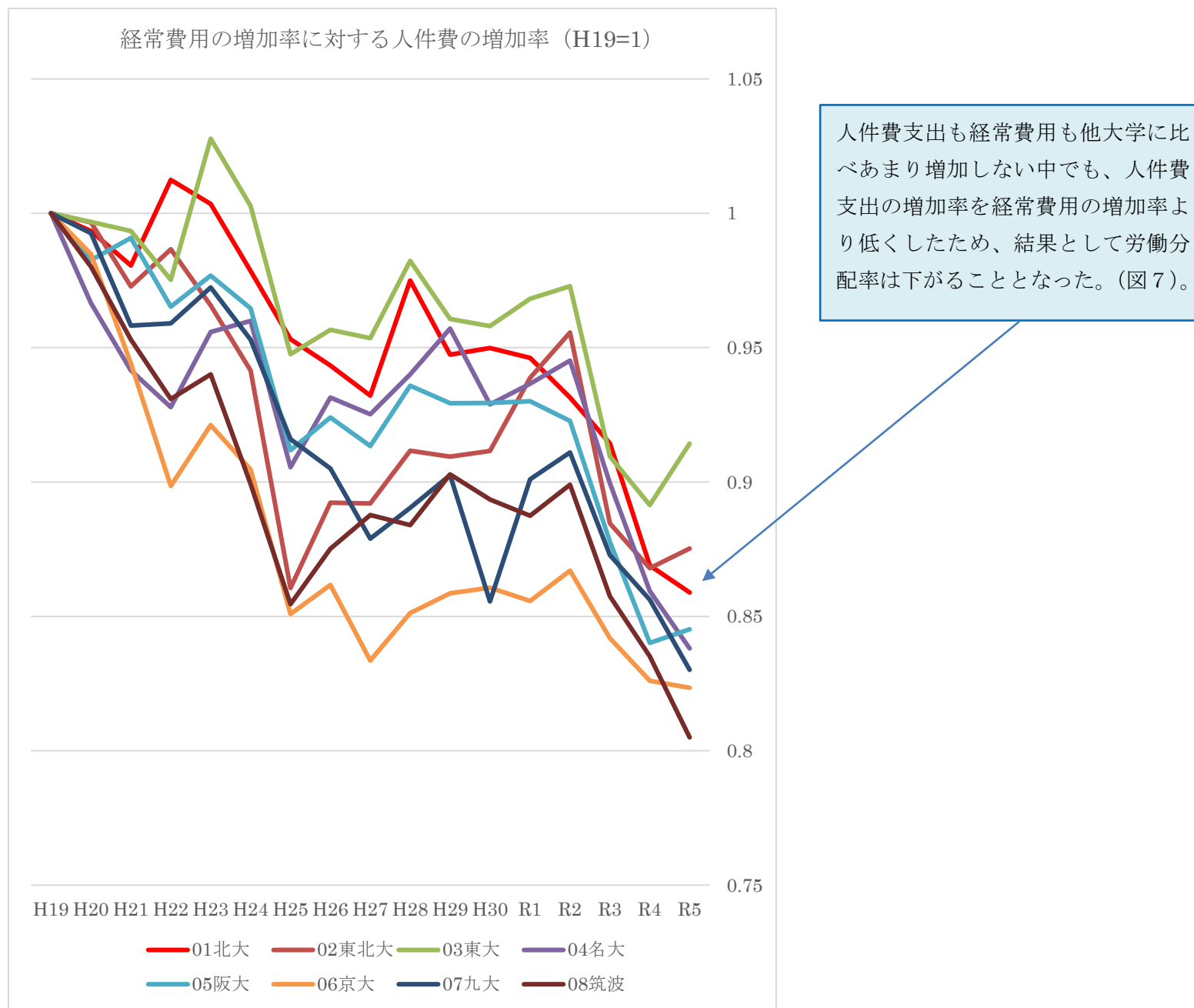
(図4：平成19年を1とした場合の人件費金額の増加率の推移)



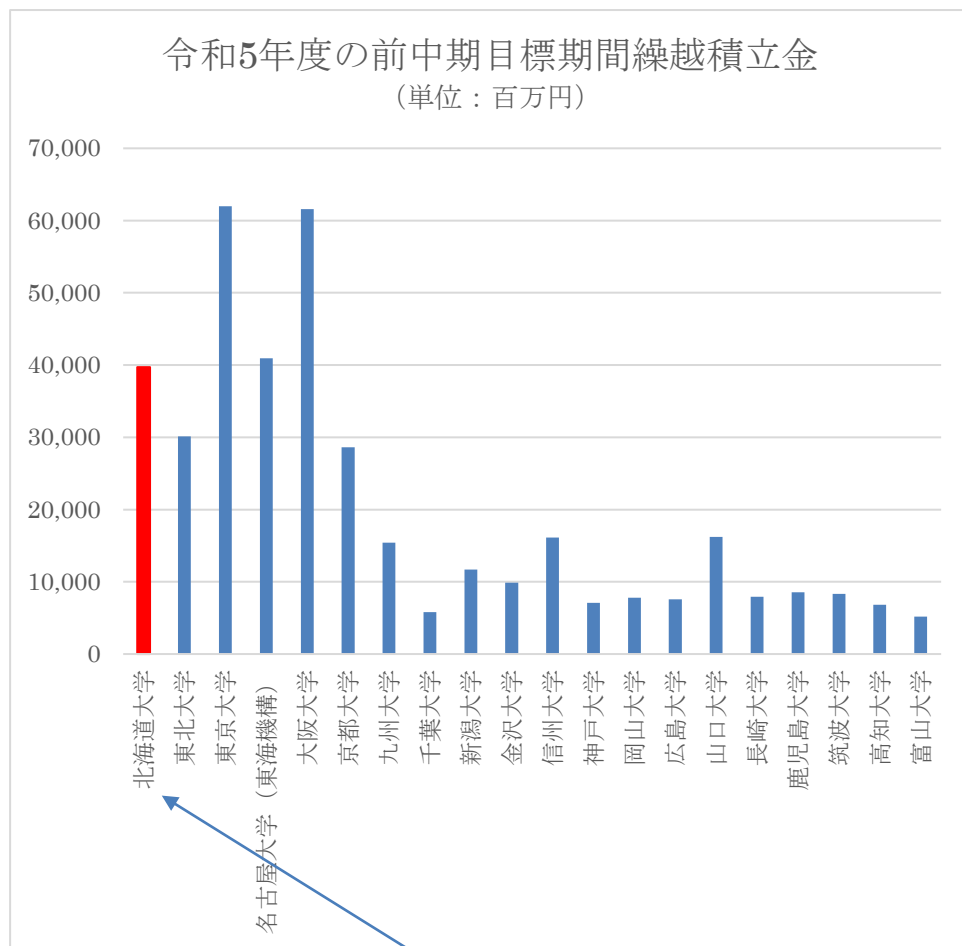
(図5：経常費用金額の推移)



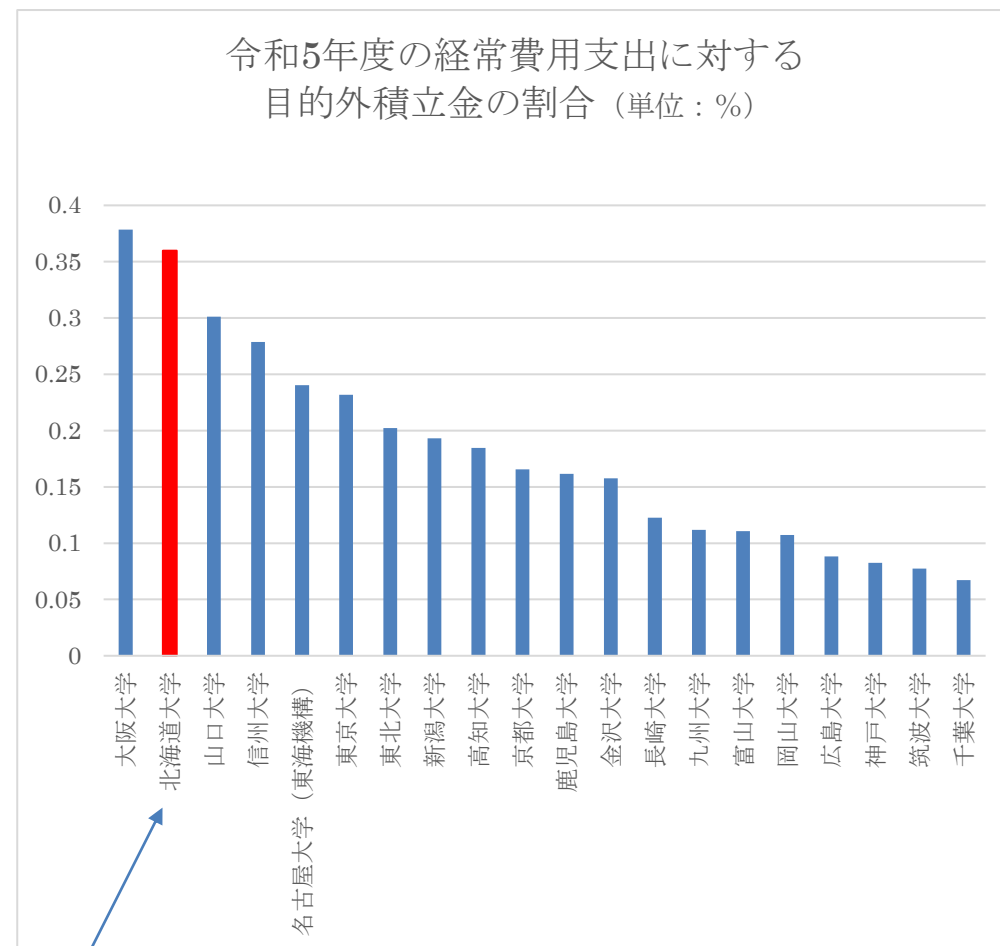
(図6：平成19年を1とした場合の経常費用金額の増加率の推移)



（図7：平成19年を1とした場合の経常費用の増加率に対する人件費の増加率の推移）



(図8：令和5年度の前中期目標期間繰越積立金)



(図9：令和5年度の経常費用支出に対する目的外積立金の割合)

経常費用の増加が他大学に比べて低位であるにもかかわらず、積立金の額は高い状況にある(図8)。特に経常費用の額に対する積立金の額の割合はかなり高い(図9)。